

平成18年9月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成18年7月31日

上場会社名 株式会社フルキャストテクノロジー

(JASDAQコード番号: 2458)

(URL <http://www.fc-tec.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 貝塚 志朗

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 岩田 剛司

(TEL: (03)3780-8321)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成18年9月期第3四半期財務・業績の概況(平成17年10月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(非連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月期第3四半期	5,698	(-)	258	(-)	226	(-)	122	(-)
17年9月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 17年9月期	6,865		451		430		247	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年9月期第3四半期	2,306	71	2,162	66
17年9月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 17年9月期	21,797	16	-	-

(注) 1. 四半期の経営成績の売上高、営業利益等の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っておりませんので、前年同期の実績およびこれに対する増減率の記載は行っておりません。

2. 期中平均株式数 18年9月期第3四半期 53,196株 17年9月期第3四半期 一株 17年9月期11,346株

[経営成績(非連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

我が国経済は、引き続き原油価格高騰の内外経済への影響が懸念されるものの、企業収益は堅調に推移し、設備投資も増加傾向にあります。当社の主要顧客でありますエレクトロニクス業界におきましては、将来的な事業拡大や市場競争力強化のための開発投資の強化拡大の取組みが顕著になってまいりました。

アウトソーシング業界の市場については、過去に人員整理を行ってきた企業が正社員の雇用を積極的に再開してきているものの、商品開発の短縮化、団塊世代の退職等による労働力の減少を背景として、企業側の需要は依然として高水準で推移しているためアウトソーシング業界に対するニーズはより一層高まってきております。

このような環境の中、当社におきましては新卒技術者ならびに中途技術者の積極的な採用を行っております。また、海外居住者の採用ならびに技術社員の付加価値を高めるべく教育を行い顧客企業に人材の提供を行うことも着手しております。

以上の結果売上高は5,698百万円、経常利益は226百万円、四半期純利益は122百万円となりました。

(2) 財政状態（非連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年9月期第3四半期	3,247	2,070	63.7	37,955	94
17年9月期第3四半期	—	—	—	—	—
(参考) 17年9月期	2,446	1,137	46.5	100,243	38

(注) 四半期の財政状態の総資産、純資産等の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績の記載は行っておりません。

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年9月期第3四半期	△322	△235	982	1,236
17年9月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 17年9月期	200	△38	△180	811

(注) 四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績の記載は行っておりません。

[財政状態（非連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、3,247百万円となり、前期末に比べ800百万円増加いたしました。これは主に新株発行により現金及び預金が802百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、1,177百万円となり、前期末に比べ132百万円減少いたしました。これは主に未払費用が196百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、2,070百万円となり、前期末に比べ932百万円増加いたしました。これは新株発行により資本金が337百万円及び資本準備金が472百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した現金及び現金同等物（以下「資金」という）は322百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益216百万円の増加が、売上債権114百万円の増加、賞与引当金87百万円の減少、未払費用196百万円の減少及び法人税等の支払額228百万円による資金の減少と相殺されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は235百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得196百万円及び固定資産の取得39百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は982百万円となりました。これは主に短期借入金191百万円の増加及び新株発行802百万円によるものであります。

○添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書、(要約) 四半期株主資本等変動計算書、生産、受注及び販売の状況

以上

[参考]

平成18年9月期の業績予想（平成17年10月1日～平成18年9月30日）

平成17年11月7日に発表しました平成18年9月期の通期の業績予想につきまして、現時点において変更はございません。

※ 予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
1. 現金及び預金	1,036,688		811,681	
2. 受取手形	10,048		8,090	
3. 売掛金	1,108,769		997,604	
4. たな卸資産	16,751		3,802	
5. 有価証券	200,010		—	
6. 繰延税金資産	99,921		149,872	
7. その他	228,387		183,997	
貸倒引当金	△11,341		△4,184	
流動資産合計	2,689,233	82.8	2,150,865	87.9
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	7,778		2,505	
(2) 工具、器具及び備品	32,127		27,593	
有形固定資産合計	39,905	1.3	30,099	1.2
2. 無形固定資産	29,976	0.9	15,740	0.7
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	198,885		2,000	
(2) 敷金・保証金	191,640		162,586	
(3) その他	105,461		91,967	
貸倒引当金	△7,750		△6,306	
投資その他の資産合計	488,236	15.0	250,247	10.2
固定資産合計	558,119	17.2	296,087	12.1
資産合計	3,247,353	100.0	2,446,953	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
I 流動負債				
1. 買掛金	16,520		17,951	
2. 短期借入金	350,000		158,168	
3. 1年以内返済予定の長期 借入金	—		11,040	
4. 未払費用	110,664		307,604	
5. 未払法人税等	—		137,538	
6. 賞与引当金	210,030		298,000	
7. 預り金	162,830		—	
8. その他	169,345		227,935	
流動負債合計	1,019,390	31.4	1,158,238	47.3
II 固定負債				
1. 退職給付引当金	157,693		151,353	
固定負債合計	157,693	4.9	151,353	6.2
負債合計	1,177,084	36.3	1,309,591	53.5
(資本の部)				
I 資本金	—	—	499,950	20.4
II 資本剰余金				
1. 資本準備金	—		235,950	
資本剰余金合計	—	—	235,950	9.6
III 利益剰余金				
1. 四半期(当期)未処分利益	—		401,461	
利益剰余金合計	—	—	401,461	16.5
資本合計	—	—	1,137,361	46.5
負債及び資本合計	—	—	2,446,953	100.0
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	837,450	25.8	—	—
2. 資本剰余金				
(1) 資本準備金	708,650	21.8	—	—
資本剰余金合計	708,650	21.8	—	—
3. 利益剰余金				
(1) その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	524,168	16.1	—	—
利益剰余金合計	524,168	16.1	—	—
株主資本合計	2,070,268	63.7	—	—
純資産合計	2,070,268	63.7	—	—
負債及び純資産合計	3,247,353	100.0	—	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期)		(参 考) 平成17年9月期	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
I 売上高	5,698,699	100.0	6,865,701	100.0
II 売上原価	4,247,428	74.5	5,236,015	76.3
売上総利益	1,451,270	25.5	1,629,685	23.7
III 販売費及び一般管理費	1,192,294	20.9	1,178,571	17.1
営業利益	258,976	4.6	451,114	6.6
IV 営業外収益	687	0.0	538	0.0
V 営業外費用	33,483	0.6	20,767	0.3
1. 新株発行費	8,078		—	
2. 上場関連費用	22,518		16,288	
3. その他	2,885		4,479	
経常利益	226,180	4.0	430,886	6.3
VI 特別利益	—	—	6,806	0.1
VII 特別損失	9,244	0.2	11,681	0.2
税引前四半期(当期) 純利益	216,936	3.8	426,012	6.2
法人税、住民税及び 事業税	49,552	0.9	215,231	3.1
法人税等調整額	44,676	0.8	△36,530	△0.5
四半期(当期)純利益	122,707	2.1	247,310	3.6

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成17年10月1日 至 平成18年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	499,950	235,950	401,461	1,137,361	—	—	1,137,361
当四半期の変動額							
新株の発行	337,500	472,700	—	810,200	—	—	810,200
四半期当期純利益	—	—	122,707	122,707	—	—	122,707
株主資本以外の項目の 当四半期変動額 (純額)	—	—	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計	337,500	472,700	122,707	932,907	—	—	932,907
平成18年6月30日残高	837,450	708,650	524,168	2,070,268	—	—	2,070,268

4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	当四半期 (平成18年9月期第3四半期)	(参 考) 平成17年9月期
	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期(当期)純利益	216,936	426,012
減価償却費	12,462	15,582
貸倒引当金の増減額	8,602	2,987
賞与引当金の増減額	△87,969	69,000
退職給付引当金の増減額	6,340	33,265
受取利息及び受取配当金	△240	△278
支払利息	1,200	2,062
新株発行費	8,078	—
固定資産売却益	—	△76
営業譲渡益	—	△6,616
固定資産除却損	1,228	259
事業整理損	—	9,564
営業権償却費	—	658
ソフトウェア償却費	4,410	21,898
売上債権の増減額	△114,566	△38,553
たな卸資産の増減額	△11,816	16,994
仕入債務の増減額	△1,431	△29,845
未払費用の増減額	△196,940	28,124
その他	61,071	△138,612
小計	△92,634	412,426
利息及び配当金の受取額	85	278
利息の支払額	△1,230	△1,948
法人税等の支払額	△228,305	△210,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322,084	200,519
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△196,906	—
有形固定資産の取得による支出	△19,438	△23,652
有形固定資産の売却による収入	—	52
無形固定資産の取得による支出	△19,691	△14,067
貸付による支出	△400	△1,870
貸付金の回収による収入	624	1,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,811	△38,006
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	191,832	△141,968
長期借入金の返済による支出	△11,040	△39,010
株式の発行による収入	802,121	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	982,913	△180,978
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	425,016	△18,464
VI 現金及び現金同等物の期首残高	811,681	830,146
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,236,698	811,681

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

5. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績になじまないため、記載を省略しております。

(2) 受注状況

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を正確に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

製品区分	当四半期 (平成18年9月期第3四半期)	
	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	5,100,870	89.5%
ビジネスソリューション事業	597,829	10.5
合計	5,698,699	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 四半期の販売実績につきましては、第1四半期より開示を行っておりますので、前年同期の実績およびこれに対する増減の記載は行っておりません。